

エンゼトニン[®]液 0.05

500mL

工.密封包帯、ギプス包帯、バックに使用すると刺激症状
があらわれることがあるので、使用しないことが望ま
しい。

(2)その他

1)調製方法

繊維、布(綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等)は本剤の成
分であるベンゼトニウム塩化物を吸着するので、これ
らを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下と
ならないように注意すること。

2)使用時

ア.血清・膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させる
ので、これらが付着している場合は、十分に洗い落と
してから使用すること。

イ.石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石け
ん分を洗い落としてから使用すること。

ウ.皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使
用時に溶液に浸すこと。

3)器具等材質

ア.合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗
装カテーテル等への使用は避けることが望ましい。

イ.皮革製品の消毒に使用すると変質させることがある
ので使用しないこと。

【薬効薬理】

本剤は芽胞のない細菌、真菌類に広く抗菌性を有し、グラム陽性
菌には陰性菌より低濃度で効果を示す。結核菌及び大部分のウ
イルスに対する効果は期待できない。

【取扱上の注意】

本剤は滅菌製剤なので、開封時及び開封後は、微生物による汚染
に注意すること。

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部
東京都中野区中央5-1-10



ゴム・ゴム栓

202008

開封日

年 月 日

販
売

外用殺菌消毒剤

2015年1月改訂(第3版)

滅菌製剤

エンゼトニン[®]液 0.05

Enzetonin Solution 0.05

日本薬局方 ベンゼトニウム塩化物液

調剤

500mL

0.05%



(01)049872882040715

製造
番号
使用
期限



ヨシダ製薬

製造販売元
吉田製薬株式会社
埼玉県狭山市南入倉951

エンゼトニン[®]液 0.05

500mL

外用殺菌消毒剤

500mL

日本標準商品分類番号
872616

承認番号 21000AMZ00384000
薬価収載 1998年 3月
販売開始 1998年 5月
再評価結果 1982年 8月

貯法:遮光、室温保存
使用期限:ラベルに記載

【組成・性状】

1.組成

ベンゼトニウム塩化物0.05%v/v
添加物としてホウ砂、エデト酸ナトリウムを含有する。

2.製剤の性状

本剤は無色透明の液で、においはない。
本剤は振ると強く泡立つ。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
手指・皮膚の消毒	通常石けんで十分に洗浄し、 水で石けん分を十分に洗い落 とした後、ベンゼトニウム塩化 物0.05%溶液に浸して洗い、 滅菌ガーゼあるいは布片で消 拭する。術前の手洗の場合 には、5～10分間ブラッシング する。
手術部位(手術野)の粘膜炎の 消毒	ベンゼトニウム塩化物0.01 ～0.025%溶液を用いる。
皮膚・粘膜炎の創傷部位の消毒	ベンゼトニウム塩化物0.01 %溶液を用いる。
感染皮膚面の消毒	ベンゼトニウム塩化物0.05 %溶液を布片で塗布・消拭す るか、または噴霧する。
手術室・病室・家具・器具・ 物品などの消毒	ベンゼトニウム塩化物0.025 %溶液を用いる。
経洗浄	ベンゼトニウム塩化物0.025 %溶液を用いる。
結膜囊の洗浄・消毒	ベンゼトニウム塩化物0.02 %溶液を用いる。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意
(1)本剤は濃度に注意して使用すること。

滅菌製剤

エンゼトニン[®]液 0.05

Enzetonin Solution 0.05

日本薬局方 ベンゼトニウム塩化物液

(2)炎症又は易刺激性の部位(粘膜炎、陰股部等)に使用する場
合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが
望ましい。

(3)本剤を希釈して使用する場合は、精製水を使用して調製
後滅菌処理すること。

2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を
実施していない。

【過敏症 発疹・痒疹・痒感等(頻度不明)】

注)このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

3.適用上の注意

(1)人体

1)投与経路:経口投与しないこと。洗眼には使用しない
こと。

2)使用時

ア.原液が眼に入らないように注意すること。眼に入っ
た場合には水でよく洗い流すこと。

イ.皮膚・粘膜炎の刺激症状があらわれることがあるので、
注意すること。

ウ.粘膜炎、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使
用しないこと(全身吸収による筋脱力を起こすおそ
れがある)。